



秋明菊

## 第1567回例会報告

平成30年 9月13日 (木) 曇り

### 会長告知

会長 北原 厚子

#### 基本的教育と識字率向上のための国際ロータリーの活動

#### ★幹事報告

##### 【報告事項】

本日第4回理事会がありました。

- 1:10/4青少年奉仕委員会担当講師卓話です。
- 2:10/11職業奉仕委員会担当木曾RCメンバー卓話です。
- 3:10/18国際奉仕委員会担当財団・米山についてメンバー卓話です。
- 4:10/23三クラブ合同例会（岡谷中メモリー）詳細と出欠はFAX日おいて連絡をします。
- 5:10/25(木) は休会です。
- 6:9月30日小学生湖上観察会出席をお願いします。

##### 【回覧事項】

- 1:10月14日地区大会出欠を取ります。

##### 【受領文書】

夜、一人で会社に残り会長告知を考えていましたら、虫の鳴き声が聞こえてきましたゆったりと、ゆっくりと、秋支度。さて、今月は基本的教育と識字率向上月間です。今日の会長告知のために少し勉強してきました。読み書きのできない15歳以上の人は、世界に約7億7500万人。これは、全世界の成人の17%にあたるそうです。しかも、学



校に通っていない子どもたちは世界に6700万人いると言われています。これらの方々には特に都会から離れた地域に住んでおり、女性に多いようです。ロータリーでは特に女性を対象とする活動を始めました。女性に読み書きの能力があれば、その子供に読み書きができるようになり、すべての人により良い未来がもたらされるからです。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別をなくし、成人の識字率を高められるよう支援することがロータリーの目標です。国際ロータリーが世界で取組んでいる奉仕活動についても正しく知っておかなければいけないと思いますので勉強したばかりですが少し聞いてください。ロータリー財団はこれらの地域へ奨学金、教材や学用品の寄贈、奉仕プロジェクトを通じて、世界中に教育支援を行っています。ロータリーの活動によってデトロイトで読み書き

のレベルが3学年分向上した成人の数は500人。レバノンの学校がきれいな水を利用できるようにするためにロータリーが支給した補助金は1億ドル、アフガニスタンでは、貧困の連鎖を断ち切り、教育の不平等をなくすために、ロータリー会員が女子学校をつくりました。デトロイトでは、成人の半数以上が十分な識字率を持たないといわれ、成人への個人指導を行う講師を募集し研修を行いました。また、ネパール大地震の後地震でパソコンを失った学校にパソコンを寄贈。さらにアフリカの学校にパソコンを寄贈し、インターネットの使い方を教員に指導しました。「読み書きを教えることは、一生使えるスキルを教えることです。その恩恵は、ひとり、またひとりと、地域全体に波及します」と。国際ロータリーは教育面だけではなく、私は国際ロータリーの考えていることは、ローカルなクラブの実態にそぐわないと思っていました。そして同時に私たちは病気や貧困や戦争などの厳しい状況のなかに置かれている人たちの実態などについても詳細な理解を得てはいません。しかし少なくとも、そのような世界の厳しい実態や、それに正面から向かい合っている国際ロータリーの取組について、知って行こうとする姿勢が私たちロータリアンにとって必須の責務だと思います。9月「基本的教育と識字率向上月間」にちなみ、識字能力がないために成功への道を閉ざされてしまっている何百人もの人々に思いを馳せ、私たちも同じロータリーの枠組みのなかであって、この世界という広い視野を共有していかななくてはならないと思いました。

出席報告	ニコニコBOX	今週のことば
会員数 38人	4名	8,000
出席対象 38人	累計	163,000
出席者数 29人	目標額	60万円
出席率 76.3%	達成率	27.2%
前回修正 86.8%		

## 国際奉仕委員会 担当例会 会員卓話

～ロータリーの国際奉仕概念と諏訪湖ロータリーの歩み～

国際奉仕委員会 委員長 長崎 政直 会員

### 主旨

- ①ロータリークラブの国際奉仕の原点を理解していただく。
  - ②国際奉仕事業の原点を再確認すると共に、その視点から現在進行事業を検討してみる。
- 2018-2019 会長指針 国際奉仕委員会**
- ①鍵盤ハーモニカ事業をどこまで続けていくのかも含めて支援の方法を改めて再検討してみる必要があるのではないか
  - ②ロータリー財団、米山奨学会寄附はなぜ必要なのか、どう使われているか説明し、理解してもらい、ゼロ円寄付者を無くす。
  - ③来期35周年に向けてグローバル補助金制度を有効に利用し、ふさわしい国際奉仕活動を企画し、実行するための準備をしていきたい。



**ライオンズクラブ 1917年 シカゴで設立**

**ロータリー発展**

1905年設立 → 1907年

友達  
づくり

互恵  
関係

奉仕  
活動

本仲間へ奉仕するものが最も利益を得る。  
He profits most who serves his fellows best.

**ロータリーの奉仕理念**

1916年 He profits most who serves his fellows best シェルドン	1911年 Service not self フランク・コリンズ	1916-1921年 Service above self 1921年 シェルドン The Philosophy of Rotary	1923年 決議20-3447 "Service above self" が 奉仕哲学 "He profits most who serves best" が 実証実験の総理 と承認された 1930年 シェルドン選会
---------------------------------------------------------------	----------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

仲間 (Fellows) のためのロータリーから、全人類に対する奉仕へ



**国際奉仕の分野**  
Policy of International Service

- 1 世界社会奉仕活動
- 2 国際レベルの教育及び文化活動
  - ①ロータリー友情交換
  - ②世界ネットワーク活動グループ
  - ③国際青年交換
- 3 特別月間と催し
- 4 国際的な会合への参加
- 5 海外姉妹クラブとの国際交流

**諏訪湖RCの世界社会奉仕活動**

世界社会奉仕活動は、英語ではWorld Community Serviceと記され、WCS活動と称されています。

国や行政が地域社会のニーズを満たせない発展途上国や開発途上国で、ロータリーが資金の助成等奉仕活動が実施できない場合に、活動と海外の地区やクラブに求め、協力して奉仕活動を行うのが世界社会奉仕活動です。

1972年 特別月間 日米友好月間	1972年 アジア諸国への支援	1972年 アフリカへの支援
1972年 清国一長によるタイ小学校改修事業	1972年 マクタン小学校改修事業	1972年 デイ・ケア・センター支援
1972年 津口幸二氏の世界各地医療奉仕	1972年 セブ島・マクタン島 非利新設・改修事業	1972年 教育を...日本の子供たちに国際理解と親善
	1972年 ロータリー財団によるセブ島・マクタン島 支援事業	1972年 支援事業
	1972年 セブ島の奨学生 支援事業	1972年 キダハウン市 水供給事業

**会長指針①鍵盤ハーモニカ事業の行方**  
**セブ島支援：セブ島訪問**

- ① セブ島の子供たちに音楽を、日本の子供たちに国際理解と交流を...の推進
  - \* 鍵盤ハーモニカの収集
  - ⇒セブ・コルドバ市小学校への寄贈(150台)
  - \* 現地先生たちとの交流
  - 35周年記念事業の検討
- ② 学校訪問
  - \* マクタン小学校水櫃(隔年度事業)の検査
  - \* コルドバ市小学校音楽学習指導
- ③ デイ・ケア・センターへの支援

**会長指針②**  
**ロータリー財団・米山奨学金の必要性**

米山奨学会寄附募集・奨学生の奨助 (創立以降毎年)

- \* 地区からの奨助として一員あたり2万円 (クラブ予算の3千円を含む) の奨助。
- \* 2月21日1538名 米山奨学生申込 藤 孟雨やわゆら

ロータリー財団への寄付募集 (創立以降毎年)

- \* 奨助補助金 (DCF)及びグローバル補助金 (WF) の募財
- ポリー才奨助運動寄付募集
- \* 国際ロータリーの奨助に比べて有利

希望  
表彰単位10万円があり、周年35周年あるいは40周年という周年を  
意識して、周年にどちらかが達成できるように計画!!

**会長指針③グローバル補助金の有効利用**  
**ミンダナオ子ども図書館財団支援のための調査研究**

ミンダナオ子ども図書館財団が立ち上げるキダハウン市5ヶ地区への水供給計画 (資金約2千万円) をロータリー財団・グローバル補助金へ提出するためのノウハウを習得する。

グローバル補助金に申請する際、申請書類を準備・提出する必要がある。受益地域の住民の強いニーズ把握等々のハードルがあり、視察ロータリークラブの積極的関与が必要である。受益地域のロータリークラブとして、何れをどのように示し、本気で取り組んでもらうようにする方策を見つけたいと考えたい。

- ①ミンダナオ子ども図書館訪問 (フィリピン・ミンダナオ島・キダハウン市)
  - \* 財団事業の視察
  - \* 益田財団員 青少年日本家庭の公開について
- ②現地ロータリークラブ・キダハウン市・ロータリークラブ訪問
  - 水供給事業計画の読み・事業協力関係の確立と現地の状況・署名
  - ロータリークラブの交換・署名
  - 提出事業計画書の作成・両クラブ事業代表者の選出